

## A K A 3 校合同（天沼中・沓掛小・天沼小）学校運営協議会 会議報告

日時：令和4年7月13日

場所：天沼小学校アリーナ

テーマ「特色ある教育活動」

天沼中学校区を構成する3校のコミュニティ・スクール(CS)の情報交換として、学校運営協議会委員が集まり、合同会議を実施しました。

次ページ以降に記載する、各校の「特色ある教育活動」の発表を行ったのち、5つのグループに分かれて、この教育活動により、どのような力を身につけているのか、また期待しているのか等についての情報交換・熟議を行いました。以下は、熟議の内容を、まとめたものです。

### 熟議の内容

- ◆それぞれの学校が、地域の特性に合った特色ある教育活動をしていく中で、Give And Take の精神が成り立つと良い。子どもたちがいつも与えてもらうだけでなく、天沼中生徒のレスキュー隊の活動のように、地域のために何かできないかという視点に立った学習を考えていってもいいのではないか。
- ◆特色ある教育活動により、児童生徒の「自主の力」をどう育てていくか、が重要。そのためには、様々な「体験」を「体験」だけで終わらせることなく、体験後の掘り下げや内省の機会をもっと作り、子どもたち自身の判断経験を蓄積、次の体験につなげることが大事なのではないか、という意見が出た。
- ◆期待する学びは、学校内外において小学校低学年から自分の意見を発言し続けることである。  
3校が連携できることは、二つある。ひとつは継続性のある直接経験である。タブレット PC で調べることが容易になったが、例えば、畑で作物を育てる・伝統芸能や文化にふれるなどの直接経験からの学びを続けることである。もうひとつは、教科学習以外に個々の興味関心に応じた学びの場の提供やその拡大である。ひとつのことを深く学ぶことに加え、児童生徒に新しい経験や気づきを与えるような広がる学びの提供である。
- ◆3校とも読書に力を入れている事が分かった。数年前に3校の司書で選定した「9年間で読んで欲しいAKAおすすめの110冊リスト」がそれ以降更新されていないので、これを機に再選定してみるのはいかがでしょうか？中学生が小学生に読んで欲しい本を選ぶのも面白いのでは。
- ◆キャリア教育について、小学校から中学校へのつながりが感じられる点、また、読書について、3校とも自分たちで「考える力」の獲得を重視している点もあらためて確認ができた。  
また、天沼中のボランティア活動である「杉並区中学生レスキュー隊」についての話し合いの中で、「地域と防災」について、3校合同のテーマとしてはどうか、という共通認識が生まれた。





## 1 フレンドシップ

5月の1泊2日のフレンドシップスクールでは、チームづくりのエクササイズ等で友だち関係づくりをしています。また、運動会へ向けての活動などを通してお互いを理解し合い、ルールの下で合意をつくる経験を重ねています。

「おしゃべりウィーク」を設けて、生徒はゴールデンウィーク前後の3日間、6時間目の授業を

カットしてこの時間にあてています。話したい先生とおしゃべりをするという時間です。気になっていること、迷っていることなど、どんな話題でも良く、一人10分間ほどですが、聞いてもらってスッキリするという時間を過ごせればという取組です。

また近年、希望する保護者の「おしゃべりウィーク」も実施しています。

## 2 ボランティア

杉並区の中学生レスキュー隊（防災活動）には、毎年70～90名の生徒が参加しており、小中学校の震災救援所訓練にも参加しています。また、生徒会によるエコキャップ運動、募金

運動、地域教育推進協議会とも連携して、様々なボランティア活動を進めています。

荻窪音楽祭への参加では、福島・南相馬とのつながりも持つことができました(現在休止中)。

## 3 ことだま検定（「言霊百選」「Kotodama100」）、そしてことだま朗読

良い言葉、美しい言葉に触れて、生徒の心が豊かになるようにと学校で編集した「言霊百選」。これを暗唱し、朝学習の時間に支援本部をはじめ地域・保護者の方々に聞いてもらい

クリアすると、言霊名人に認定されます。

英語版「Kotodama100」も同じ仕組みで編集されました。ことわざ、名言、童謡、歌からなっています。ことだま朗読の機会もはじめました。

## 4 学年縦割り活動

異学年での話し合い活動を大切にしています。運動会での係活動や校外学習の報告会

交流活動、防災のHUG訓練などでも取り組んでいます。

## 5 支援本部との協働による様々な学習機会の提供

### 【キャリア教育】

自分の特徴や持ち味を見つけ出す機会を作るために、1年では様々な職業の方々とコーディネートして「職業人ワークショップ」を実施しています。2年では自分で職場を探し訪問します。

### 【伝統文化に触れる授業】

地域の指導者と共に、琴・三味線・華道・茶道・書道・芸能（落語）の体験学習を行うとともに、国際理解・交流にも取り組んでいます。

### 【自主的学習の場づくり】

自主的学習の場づくり(原則は土曜・水曜)も大切にしています。これは、生徒が考えに考え、自らの課題を選び取り、他者と考えを共有することでさらに考えを深めることを、日々の授業の積み重ねで鍛えていきたいという、校内学力向上研修会で提案された方向性に基づき、自立的な学習者になる機会を設けようと、支援本部と協働して実施。今年から「英語カフェ」も開始しました。

## 沓掛小学校の特色ある教育活動



### 1 学校経営計画に上げられた5つの活動

- ① 読書活動
- ② キャリア教育
- ③ 日本の伝統文化理解教育
- ④ ICTと情報教育
- ⑤ 吹奏楽

### 2 その他の特色ある教育活動

#### ■ ふれあいフライデー

児童には、たくさん遊んで、ゆっくり休んで、心身ともに健やかになってほしいと、30分休みを導入して10年以上が継続しています。

休み時間が30分あると、十分外遊びしてからでも次の時間の準備が出来たり、図書室でじっくり本を読んだりすることも出来ます。また、ちょっと図書室に行ってから校庭で遊ぶこともできます。

この30分休みが活かされているのが、毎週金曜日開催されている「ふれあいフライデー」です。

支援本部のコーディネートにより、地域の方が囲碁・将棋・オセロ・動物将棋・押し花クラフト・折り紙・チラシクラフト・昔遊び・英語遊び・お笋の各ブースで、子ども達と遊んでくださいます。

ブースは参加できるメンバーや会場の都合で変わることもありますが、保護者サポーターも協力して、準備や片付けをしています。

2年間コロナ禍の為活動できませんでしたが今年度学年を区切って再開しました。

#### ■ 畑での栽培活動

沓掛小では20年近く、近隣の農家の方のご協力で、1年生は大根、2年生はサツマイモやブロッコリー、5年生で植えたジャガイモを6年生になって収穫する、「畑での栽培活動」を続けてきました。

プランターでは経験できない、踏みしめた時の土のやわらかさや、植物だけでは無い自然の豊かさを経験しています。

#### ■ 吹奏楽団

音楽教室の時代は合唱と吹奏楽の2本立てでしたが、吹奏楽に強い音楽の先生が赴任されてから、吹奏楽団になりました。

沓掛小を練習会場にしている武蔵台ウィンドオーケストラに指導を受けたり、演奏会に一緒に出たりすることもあります。現在は4年生～6年生の有志が参加しています。



天沼小学校の特色ある教育活動は、大きく以下のように整理して進めています。不易の教育については、開校以来の「地域と共にある学校」としての特色を生かしながら、支援本部と協働しながら取り組んでいます。

## 不易の教育…いつまでも変わらない本質的なこと「人間力」「文化力」を育てる活動

### ■キャリア教育

社会的・職業的に自立し、自分らしい生き方を実現できる力を育てる教育として、日々の学校生活の中で培われる力を土台として、体系的な活動を取り入れて実施しています。

1年生から、日々の係活動など、学級活動・特別活動として、自分の興味関心や得意なことを生かして、クラスのために役立ち貢献することを、子どもたちが主体的に取り組めるように工夫する活動

1～6年生までの体系的な取組を、地域ネットワークの協力で実施する活動

お店番体験（3年）／地域安全マップづくり、福祉・ユニバーサルデザイン学習（4年）／天沼会社経営プロジェクト（5年）／わたしたちの天沼、裁判傍聴（6年）／弁天池公園での花育て活動（特別支援）

### ■日本の伝統・文化理解教育

日本の伝統や文化を理解し、誇りをもって多様な国籍の人々と積極的に関わろうとする意欲と態度を育てる教育として、地元の専門家の指導による本物体験を重視した活動をおこなっています。

伝承遊び／紙漉き／折紙／茶道／華道／書道／伝統工芸／藍染／和太鼓／和菓子づくり／百人一首

### ■読書活動

豊かな言葉を獲得し、知識を広げ、感性を磨き、表現力や創造力を高めることで、豊かな人生を生きる力を育てる、人間性育成を重視する活動です。

読書旬間

\* 教職員による読み聞かせタイム「ハッピーブックタイム」を実施

\* 児童が中心となった「おすすめ図書紹介」等

お話会……声だけの読み聞かせ「素話」

読み聞かせ…絵本を使った、読み聞かせ

絵本の会……お話会や読み聞かせを行う地域・保護者ボランティアの自主勉強会

## 進化の教育…時代の変化に対し「生き抜く力」を育てる情報教育

### ■ICT活用

タブレット PC をコミュニケーションツールとして活用するとともに、電子黒板やデジタル教科書を活用しながら、6年間を通した計画を実践します。

### ■情報モラル教育

情報を活用すればするほど、モラルの大切さがわかります。情報教育とモラル教育を並行して進めます。

### ■プログラミング教育

プログラミング的思考力、判断力等を伸ばす授業を進めます。